

じゃかるた新聞に掲載されました

2018年(平成30年)10月26日(金曜日)

The Daily Jakarta Shimbun

まち・ひと 8

04:00	NHKニュース おはよう日本
06:00	連続テレビ小説「まんぷく」(22)
06:15	あさいチ
07:55	みんなの体操
08:00	ニュース・気象情報
08:05	ガッテン!「認知症の人が劇的変化!「アイコンタクト」パワー全開SP」
08:50	歴史秘話ヒストリア「黄金の室町時代 最新研究 足利義満」
09:35	うちなーであそぼ
09:40	みちたん
09:48	視点・論点
10:00	ニュース
10:20	サラメシ「シーズン8 第19回」
10:45	連続テレビ小説「まんぷく」(22)
11:00	趣味どきっ!「海・山・町を再発見!おとなの歩き旅秋(4)」
11:25	おもてなしの基礎英語
11:35	旅するフランス語 黒木華のフランス美食散歩 L4 ランクスマへ街の風になれ〜選「地元ランナーおすすすめ!10キロ in 宮城 名取」
12:25	Journeys in Japan (アンコール)「南伊豆 豊かなる海」
12:55	名曲アルバム
13:00	BSニュース
13:10	みんなのうた
13:15	デザインあ 5分版
13:20	極上!スイーツマジック 選「異次元チョコミニ」
13:50	ごごナマ「おしゃべり日和」
14:45	ピタゴラスイッチミニ
14:50	BSニュース
15:01	にほんごであそぼ
15:11	えいごであそぼ with Orton
15:21	いないいないばあ!
15:36	おかあさんといっしょ
16:00	BSニュース
16:10	みいつけた!
16:25	天才てびくんYOU
17:00	NHKニュース7
17:30	ネーミングバラエティ〜日本人のおなまえっ!「まんぷく」高度経済成長期のおなまえ
18:15	所さん!大変ですよ「食卓のヒミツ道具で健康長寿!」
18:43	NHKプレマップ
18:45	まいにちスクスク
18:50	もういちど、日本
19:00	ニュースウオッチ9
20:00	クロスアップ現代+
20:25	もふもふモフモフ「猫馬」上陸!アルパカ登場!砂羽ニャンコ激写!世界はほほいモノにあふれてる「極上の美食パトナミーズを探そう」
20:45	ニュースチェック11
21:40	国際報道2018
22:35	世界へ発信! SNS英語術「#Halloween」
23:00	ろんぷ〜ん「盛り顔の論文×ロンプ〜ん。盛り過ぎの境界線&浮世絵風に盛る教式」
23:30	ニッポンぶらり鉄道旅 選「パワフル女子」を探して JR常磐線
26日	
00:00	あの日 わたしは〜証言記録 東日本大震災〜
00:05	ニュースチェック11
00:35	時論公論
00:45	趣味の園芸 パラと春らす12か月 第7回
01:10	きょうの健康(アンコール)骨に炎症が!骨髄炎 きょうの料理 秋田・阿仁(北秋田市)
01:50	きょうの料理ピギナス
01:55	まる得マガジン
02:00	ごごナマ「おしゃべり日和」
02:55	NHKプレマップ
03:00	おかあさんといっしょ
03:24	みいつけた!
03:39	コナナンデ商會
03:49	ゴ!ゴ!キッチン 戦隊クックルン

スナップボタンが付いたパティックを手にするインドネシア人デザイナーたち



ヒジャブにボタンの試作品も

日本のデザイナーや企業来 イムスリムファッション

日本ムスリムファッション協会は23日から25日まで、日本のデザイナーや企業の5人を連れて、ジャカルタなどの首都圏でビジネスミーティングやムスリムファッション専門学校などを視察、国内企業やデザイナーとの商談、交流を図った。

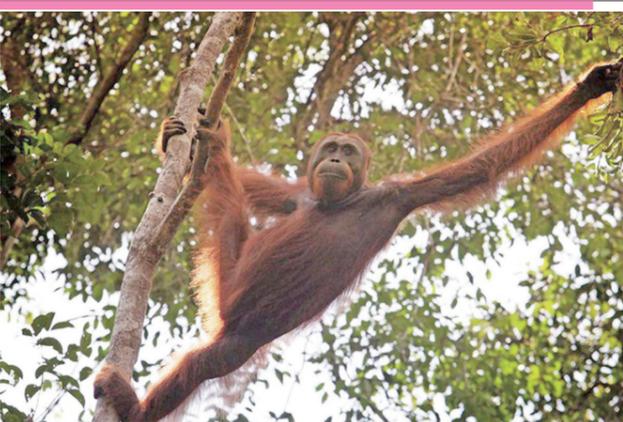
通常はピンなどで止めているヒジャブにスナップボタンを付けた試作品も披露された。

23日には南ジャカルタ区のホテルでビジネスミーティングが行われ、インドネシアファッション協議会(IFC)のアリ・チャリ

スマ会長、ムスリムファッションのデザイナーら8人も参加した。

アリ会長は「国内のムスリムファッション市場は大きい対象は中間層以下となっており、中間層以上はまだ少ない。人気は口コミで広がる傾向が多い」と、市場の現状を説明した。

ゴンドラ工業(本社・東京都中央区)は、スナップボタンで日本国内1位のシェアを持つ。片山英吉取締役が披露したヒジャブやパティックにスナップボタンを付けた試作品に、デザイナーらからは「これまでに



インドネシアの森に生息するオランウータン。ドムティックコ

トンペ村は州都パル市から車で約2時間。損壊したのは、人口約2万1千人のシレンジャ郡にある唯一のプスケスマスで、壁や床の至る所に大きなひびが入り、建物が傾くなど液状化の被害も見られた。

プスケスマス代表のモ一・サレさん(45)によると、同郡では15人が建物の下敷きになるなどして死亡。18人が重傷、171人が軽傷を負い、多くの住民が避難している。プスケスマスのスタッフは、損壊した建物から薬を運び出し、



仮設診療所のテントで、患者の家族と話す池田さん(左)と古宮さん(左から2人目)

旅行ガイドブック「ロンリープラネット」が25日までに公式ウェブで公開した「2019年の旅行先ベスト10」で、インドネシアが7位に入った。地震災害が続いていることを指摘しつつも、旅行者の安全性は問題ないとし、大自然とオランウータンなどが生息

日赤の医師、看護師が支援

震源近くのトンペ村 仮設診療所のテントで

中部スラウェシ地震の被災地で、日本赤十字社が今月中旬から、医師や看護師を派遣して支援を始めている。25日には、日赤和歌山医療センター医師の古宮伸洋さんと、大阪赤十字病院国際救急センター看護師の池田載子さんが震源地に近いドンガラ県シレンジャ郡トンペ村に入り、地震で損壊したプスケスマス(保健所兼診療所)の代わりに設けられた仮設診療所で医療アドバイスを行った。

(木村綾、写真も)

理にも使っていて不衛生。免疫の低い子どもが下痢などの病気になるやすい」と話す。

古宮さんと池田さんはこの日、各テントを見て回り、空調が壊れ、高温状態で薬が保管されている薬局のテントを見直すようアドバイス。けがの治療器具の滅菌方法も改善が必要と分かった。2人は「消毒剤が各テントにあり、ごみも落ちておらず清潔感が維持

8観光地、地震の恐れ

BNPBが発表

国家防災庁(BNPB)のストポ・ヌグロ報道官は24日、観光開発重点10地域のうち、8地域で地震が起きやすいと発表した。

8地域は中部ジャワ州マダラカ、北スマタラ州トバ湖、北マルク州モロタイ島、バンテン州タンジュン・ルバン。

ストポ報道官は「地震が起きやすいということが観光地にならない理由にはならない」と述べ、観光省と防災・減災に向けた協力が必要との見方を示した。

観光省は既に、予算1千

インドネシアが7位

ロンリープラネット 来年旅行先ベスト10

旅行ガイドブック「ロンリープラネット」が25日までに公式ウェブで公開した「2019年の旅行先ベスト10」で、インドネシアが7位に入った。地震災害が続いていることを指摘しつつも、旅行者の安全性は問題ないとし、大自然とオランウータンなどが生息

1位はスリランカで、2位にドイツ、3位ジンバブエ、4位パナマ、5位キルギスタン、6位ヨルダン、8位ベラルーシ、9位は西アフリカの島国、サントメ・プリンシペ民主共和国、10位は中国のベリーズだった。

CNNによると、ロンリープラネットは14年前から旅行者数百人などの意見を基に、国、都市の旅行先ランキングを作成、公開している。

(大野航太郎)

IMF総会で使用パソコンとプリンター寄贈 財務相

スリ・ムルヤニ財務相は25日、バリ島又サドゥアで今月開催された国際通貨基金(IMF)・世界銀行の年次総会で使用したノートパソコンとプリンターを寄贈すると発表した。バリ州、東ジャワ州パニユワン県、西又サトウガラ州の教育機関にノートパソコン500台(80億ルピア相当)、プリンター(6億7200万ルピア相当)を贈る。

(上村夏美)

